



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Weekly Report

RI 会長テーマ Reach Within to Embrace Humanity

クラブ会長テーマ 己を理してクラブと社会に貢献しよう

第 2087 回例会

日 時 : 平成 24 年 3 月 28 日

会 場 : 例会場

司 会 : SAA

岡本委員長

開会点鐘

関 会長

斉 唱 : ロータリーソング「我等の生業」

お客様の紹介

関 会長

杉本 當正様 (地区米山奨学副委員長 : 東京八王子 RC)

胡 悦超様 (米山奨学生)

会長報告

関 会長

●「第 3 回ロータリー財団研究会Ⅱ」のご案内

出席者 村上 2012-13 年度ロータリー財団委員

日 時 4 月 10 日 (火) 15 時

場 所 ハイアットリージェンシー東京

●地区ロータリー財団部門全体研修会のご案内

出席者 村上 2012-13 年度ロータリー財団委員

日 時 4 月 13 日 (金) 14 時 30 分

場 所 ハイアットリージェンシー東京

幹事報告

木島幹事

●4 月のロータリーレートは 1 ドル 82 円です。

委員会報告

●国立天文台見学について 宗村職業奉仕委員長
報告文を週報に詳しく書いていただきました。無事終了したことを皆様に感謝いたします。伊東さんのご主人にはお世話になりました。収支報告は理事会を通して配布いたします。

●岡本(正)SAA 委員長

職業奉仕で例会を途中退席される方は、必ず SAA にお申し出ください。欠席扱いになる可能性がありますので、よろしくお願ひします。

ニコニコBOX

小澤(谷)親睦活動委員

●**関会長** 先週の三鷹天文台の見学には、たくさんの会員の方のご出席有難うございました。又職業奉仕の皆様、伊東和美会員のし主人様にも大変お世話になり、楽しい会が催されました。有難うございます。

●**木島幹事** 米山留学生の胡さんのお話、楽しみにしていました。又八王子ロータリーの杉本さん付添い御苦労様です。長ーい冬もどうやら春になってくれるようですね。これからいよいよ活動の時期です。うきうきしています。

●**山口会員** 杉本様、お役目御苦労様です。

●**喜連元昭会員** 国立天文台視察と深大寺そば賞味の一日は、宗村委員長・伊東さまご主人のご尽力で大変好評に終える事が出来ましたが、私がシャッターの係となった集合写真が撮影されておらず画竜点睛を欠く結果となってしまいました。誠に申し訳ございません。

●**プログラム委員会:伊東会員** 米山奨学生 胡悦超様ようこそ我 R.C においでくださいました。長く温めていた卓話がやっと実現することができます。米山記念奨学委員会副委員長 杉本當正様どうぞよろしくお願ひいたします。

ニコニコ BOX 合計 12,000 円 累計 1,079,000 円

出席報告

喜連(紘)出席委員

3 月 28 日 在籍 48 名中 出席 36 名

前々回 (3 月 14 日) の 出席率 100%

閉会点鐘

関 会長



R. I. 第 2750 地区 多摩中グループ

東京国立ロータリークラブ

会 長 : 関 重 寿 幹 事 : 木 島 常 明

例 会 日 : 毎 週 水 曜 日 例 会 場 : 谷 保 天 満 宮 社 務 所 2 階 東 京 都 国 立 市 谷 保 5209 TEL042-576-5123

事 務 所 : 東 京 都 国 立 市 中 1-9-36 KK ビル 4F TEL: 042-575-0770 FAX: 042-572-8666

E - m a i l : kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp

U R L : http://kunitachi-rc.com/

会 報 委 員 : 遠 藤 直 孝 山 口 康 雄 岡 本 貞 雄 辻 伸 敏

日本の留學生活



▲胡 悦超さん

■講師紹介

杉本地区米山奨学副委員長

本日は、地区委員として近くに住んでいるため、卓話に同行いたしました。胡さんを始め米山奨学生には、成績が優秀で日本語が堪能でないと奨学生にはなりません。胡さんの卓話お聞きください。

■はじめに

皆さん、こんにちは。胡悦超と申します。中国からの留学生です。本日皆様の前に発表する機会を頂き、ありがとうございます。

2008年9月中国の大学を卒業してから、日本へ留学に来ました。今年東京学芸大学の大学院を卒業でき、4月から日本の帰国子女の教育機関 JOBA で就職します。来日三年半、学生時代が終わる際に、留學生活の感想や、今年米山奨学生として学んだことを含んで、皆さまに報告させていただきたいと考えています。

■留學生活

父親の念願と日本教育について勉強したいので、日本へ留学することを決意しました。精神が自立できなかった私は、最初の留學生活でたくさん苦勞を体験しました。アルバイトの不慣れ、言葉の困難、学業の難しさ、一人生活の寂しさがありますが、得たことも多いです。学芸大学に入ってから、多くの学校の訪問や異文化交流活動の参加を通し、日本の教育現場の事情をわかるようになりました。自分の視野も広がりました。困難があるからこそ、自分が成長できました。特に若いうちに、たくさんの体験でき、刺激をうけることができ、自分が運命の果報者だと思っています。

日本の留學生活に対して、一言に言えば、充実した・成長できた留學生活でした。そして、最初日本へ留学を決めたことは正解だと思います。

■米山奨学生としての感想

まず、米山財団の学生への支援やサポートに関して、奨学生の一人として、心から感謝を申します。ここでいただいたことは、毎月の奨学金だけではなく、人生、社会、人間同士に対する考え方です。

今年、米山ロータリンアンたちのサポートの上で、論文がうまくできました。留学してから持っていた心の葛藤、悩みなどに対して、この一年間皆様との触れ合いを通して、すべての解決方法を見つけるようにな

りました。米山で、人生のヒント、生活に対する勇気をいただいたからです。

この一年間、論文に集中した一年間です。論文は、アメリカの行動目標的カリキュラム理論の影響について考察するものです。その理論の核な内容は、教育現場で教える内容は、どのように生徒の内面的な能力や行動的な変化における影響を与えたかです。つまり、教育の結果は、行動的な変化を目指していることです。要するに、行動的な変化が大切であり、重視されるべきです。自分の生活に結び付けると、いくら新しい思想があっても、考え方を持っても、実際的な行動の変化がないと、意味はありません。また、頭で考えることが行動的に実現することは、難しいので、その差は、自分と他人の違いになるわけです。ロータリーの奨学生になった一年間では、うちのクラブの皆様の付き合いを通して、たくさん価値がある考え方、生活態度、人生にとってのヒントをいただき、ここで学んだことは、今後の生活や人生にとって、非常に有意義なことだと思っております。さらに、多くのロータリーの活動を通して、ロータリーアンたちの高い行動力が感じられ、さらに考え方と行動力の関係について理解していきました。それは、ロータリーで学んだことであり、自分の論文にとってもヒントになりました。

■今後の予定

今後の仕事内容は、中国の高校生を対象として、日本の学校に留学させるためのサポートです。私の目で見、心で感じた真実の日本を中国人の友達、生徒さんなどに客観的に伝えたいです。また、ロータリーの体験を通して、自分の使命を認識するようになりました。文化的な架け橋になるように頑張りたいです。今後の仕事でも平等・公平の規則で、学んだ知識の活用などに力を入れたいと考えています。

ロータリーアンとの触れ合いは、在籍の一年間しかないかもしれませんが、ここで学んだことは、一生の宝です。今後も、ロータリーの精神やロータリーアンたちから学んだことから、今後の生活を有意義に過ごしていきたいです。最後に、いろいろお世話になって、本当にありがとうございました。